

らんG揖斐区研修会に参加させていただきました

平成28年 3月 9日 (水)
日蓮宗宝雲山龍正寺(岐阜市)



「富士山を描いてみましょう」
⇒名称が1つでも捉える人の
心証で見え方が違う例を挙げて
います

ひよりの人の信仰は ひよりの人の芸術である。
だから、万人がこれを共有することは叶わない。
しかし、万人がこれを共有することを拒むものではない。 →この意味を理解するに
気づいてほしい

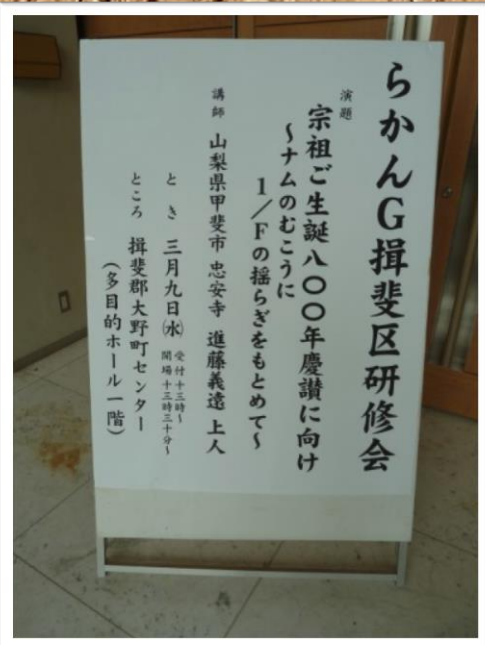
↓
「ナム=南無」の向こうには人それぞれの思い、とらえ方の相違がある

↓
だからこそ 法華経の出会いを通じて本気で向きあえるかで
結果はでる。

↓
お経を読むのも、ただ読むだけなのか
バから読むのか(声から)：イメージができてくるか
情感を込められるか

↓
自分の思いを、そのお経に乗せていくことが
できるのか

↓
法華経との縁を自分にとってどれだけの意味があるかを
考えお経を読んでもらえると良いのではないかと。



進藤上人の講義を聞き、いろいろ考えさせられたに時間でした。
お経を読む時の気持ちの持ち方も変わってきました。

来年は、大垣で開かれるそうです。是非お誘い参加してみたい。
とても良かったです。



龍正寺で南無妙法蓮華経...